

カボチャ新品种『ゆきこ』の特性と栽培の要点

雪印種苗(株) 中央研究農場

安 達 英 人

1 はじめに

カボチャはビタミンA効力を持つβカロチンを多く含み、緑黄色野菜の中でも美容と健康によい野菜として見直されてきています。

利用方法も多様化し、スープ、ケーキ、菓子類への利用が増えており、カボチャの品質に対しても粉質で甘味が強いことに加えて、裏ごししても繊維が残らないことなど様々な要望ができています。

今回ご紹介する『ゆきこ』は従来の濃緑色の平玉品種とは外観が異なり、食味が優れるニュータイプのカボチャです。

北海道には既に『ゆきこ』の産地がありますが、多くの産地は食味の良さを生かして、府県移出の契約栽培を行なっています。

ここでは、地域の特産品、差別化商品として注目を浴びている『ゆきこ』の特性と栽培の要点を紹介します。

2 『ゆきこ』の特性

作りやすく、着果のよい高品質な多収品種(表

1 参照)

1) 果実特性

果形は丸みを帯びたくり型で、果重は1.4~1.6 kgで、花痕が非常に小さいのが特徴です。

果皮色は淡緑色に灰白色の斑が入り、完熟すると果皮色がやや白色を帯びてきます。

果肉が厚いため、見た目よりも果実は重くなり、果肉色は黄色で、完熟すると濃黄色になります。

表1 試験成績

①雪印種苗(株)中央研究農場(長沼)

品 種	果数 (株)	一果重 (g)	収量 (t/10a)	果高 (cm)	果径 (cm)	糖度 (%)	肉質 (9~1)	甘味 (9~1)
《1993.5.21播種 マルチ栽培 親子づる仕立て》								
ゆきこ	3.3	1,310	1.77	11.3	14.6	13.4	3.2	3.1
他社品種E	2.7	1,580	1.77	10.8	17.2	14.5	2.4	3.0
《1994.4.25播種 トンネルマルチ栽培 親子づる仕立て》								
ゆきこ	2.5	1,224	1.70	11.2	14.5	12.5	2.8	2.7
他社品種E	1.7	1,790	1.69	10.8	17.7	10.8	2.7	2.3
《1995.4.20播種 トンネルマルチ栽培 親子づる仕立て》								
ゆきこ	2.7	1,260	1.85	12.0	13.8	11.0	3.0	2.3
他社品種E	1.7	1,680	1.49	11.4	16.3	10.0	2.3	1.8

注) 肉質: 9(粉質)~1(粘質)、甘味: 9(強)~1(無)

②士別市

品 種	つる長 (cm)	節数 (節)	果重 (g)	規 格 内 収 量			合計 (t/10a)	規格内率 (%)
				2 L	L	M		
《1993.6.12定植 マルチ栽培》								
ゆきこ	37.4	6.2	1,712	509	1,671	473	2.65	65.0
他社品種E	43.2	5.4	2,181	1,623	1,047	0	2.67	61.5

③羽幌町

品 種	つる長 (cm)	節数 (節)	果数 (株)	果重 (g)	果高 (cm)	果径 (cm)	花痕径 (cm)	食味	59日目腐敗 (%)
《1994.4.18播種 トンネルマルチ栽培 子づる3本仕立て》									
ゆきこ	28.8	9.2	4.0	1,614	12.0	15.6	1.8	良	16
他社品種E	41.5	8.5	3.8	2,305	11.8	19.8	1.1	中	0

肉質はホクホクして粉質が強く、適度な粘質感があります。糖度も高く、繊維も少ないため食味が良く、様々な料理に利用できます。

スリ傷、腐敗等の外傷に強く、肉質の劣化も少ないため、貯蔵性が高く、1～2月の出荷も可能です。

2) 草姿, 草勢

初期はややおとなしい生育をしますが、つるが伸び始めると葉は大葉となり、旺盛な生育となります。特に親づるの伸長が旺盛で、子づるの発生は少なめで、やや遅れて伸長します。

着果は極めて安定し、肥沃地での栽培や早熟栽培でもつるばけしにくく、1つるに2～3個着果し、連続着果性も強い品種です。

3) 早生性

開花後約40日で可食期となり、約45～50日で完熟します。

4) 収量性

果重は1.4～1.6kgの中果で、6～8玉/10kgが出荷の中心となります。着果性は良好で、奇形果が少ないため規格内率が高く、収量が上がります。

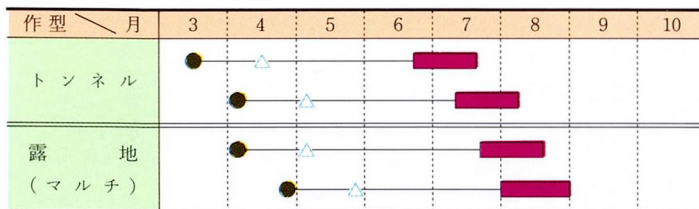
3 『ゆきこ』の栽培の要点 (図1参照)

1) 施肥と栽植密度

『ゆきこ』は初期生育は節間がややつまるためおとなしく見えますが、つる伸び後は生育が旺盛になります。このため多肥栽培は控え、基肥の窒素量は7～8kg/10a程度とし、速効性と緩効性の肥料を配合します。

追肥は一番果着果後に窒素, カリを3～4kg/10a施用します。

栽植密度は10a当たり420～560株を標準とします (表2参照)。



注) ●播種 △定植 — 生育期 ■収穫期
図1 『ゆきこ』の作型 (北海道)

表2 『ゆきこ』の栽植密度

作型	栽植密度	畦幅	株間
トンネル	560株	3m	60cm
マルチ	420～480株	3m	70～80cm



写真1 定植後35日目の「ゆきこ」



写真2 開花後35日目の「ゆきこ」

2) 定植～生育中の管理

定植は12℃の地温を確保して行い、霜から守るためにトンネル, パオパオ等で被覆します。

トンネル栽培ではトンネル内の温度が30℃以上にならないように、徐々に穴あけ換気を行います。

整枝方法は早期出荷と多収を狙う場合は親づる+子づる2本仕立てとします。通常は子づる2～3本仕立てとします。いずれの場合も低節位に着果した果実の摘果と株元のつるの整理を行います。

高品質な果実を生産するためには、茎葉の維持が必要で、計画的に病虫



写真3 完熟すると皮が白くなる（上8個が「ゆきこ」）
害の防除を行います。

3) 収穫

収穫は着果後 40～45 日をめどとしますが、積算温度（1,000℃前後）を調べ、参考とします。

『ゆきこ』は着果～肥大期は緑色皮ですが、収穫時には淡緑色となり、白色を帯びて光沢が出てきますので判定の目安とします。

未熟果は糖度が低く、過熟果は食味、貯蔵性が劣るので適期収穫に努めます。



写真4 粉質が強く、食味の良い「ゆきこ」

4 おわりに

『ゆきこ』は安定した食味の良さが最大のセールスポイントですから、特に契約栽培や直売所等で好評です。

『ゆきこ』の特性を生かして、地域の特産品として良品を出荷されることを期待致します。

健全な野菜作りを スノーグローエースがサポートします



SNOW GROWACE

スノーグローエース

バイオの活力で大きく育つ。栽培・新技術で大きく育てる。

根のしっかりした
健苗を育てよう

丈夫な苗作りに

トマト、なす、きゅうり、
ピーマン、メロン、
すいか等。

初期生育を揃え
安定生産を図ろう

作物の生育に

ほうれんそう、にんじん、
だいこん、たまねぎ等。

落花や成りづかれ
を防ごう

増収へ確かな一歩

さやいんげん、さやえんどう、
大豆、菜豆等。

活力を与え生育を
しっかり支えよう

充実した穂に

馬鈴しょ、スイートコーン、
ながいも、さといも等。